

目次

I章 序論

| | |
|---------------------|---|
| 1 はじめに | 2 |
| 2 「クリニカル・エビデンス」作成経過 | 3 |
| 7. 背景 | 3 |
| ① 診療ガイドラインとは？ | 3 |
| ② 科学的根拠に基づく医療とは？ | 3 |
| ③ 補完代替療法分野の現状と課題 | 4 |
| ④ 「クリニカル・エビデンス」の目的 | 4 |
| 2. 対象者/利用者 | 4 |
| 3. 作成者と利益相反 | 4 |
| 4. 作成手順 | 6 |
| ① 対象となる補完代替療法の選択 | 6 |
| ② サマリーの作成 | 6 |
| ③ 臨床疑問の明確化 | 6 |
| ④ 文献検索の条件 | 7 |

II章 総論

| | |
|--|----|
| 1 補完代替医療の概要 | 10 |
| 7. 補完代替医療 (complementary and alternative medicine) とは？ | 10 |
| 2. 補完代替療法の利用実態 | 11 |
| 3. 医療者の認識 | 12 |

III章 各論：クリニカル・エビデンス

| | |
|--|----|
| 1 健康食品 | 14 |
| ① サマリー | 14 |
| 7. 健康食品の概要 | 14 |
| 2. 使用上の一般的な注意事項 | 15 |
| 3. 論文報告 (エビデンス) における課題 | 16 |
| 4. 論文報告としてはないものの、「教科書に記載されている」「すでに一般的に知られている」といった副作用や禁忌事項 (=グッドプラクティスポイント：GPP) | 16 |

| | |
|--|----|
| 5. 文献検索の条件 | 16 |
| ② 臨床疑問 | 18 |
| 臨床疑問 1-1 健康食品は、がんに伴う身体症状を軽減するか？ | 18 |
| 臨床疑問 1-2 健康食品は、がんに伴う精神症状を軽減するか？ | 19 |
| 臨床疑問 1-3 健康食品は、全般的な QOL を改善するか？ | 19 |
| 臨床疑問 1-4 健康食品は、何らかの望ましくない有害事象を引き起こすか？ | 20 |
| 臨床疑問 1-5 健康食品は、検査・治療に伴う有害事象を軽減するか？ | 20 |
| 臨床疑問 1-6 健康食品は、予後を改善するか？ | 24 |
| ② マッサージ | 27 |
| ① サマリー | 27 |
| 7. マッサージの概要 | 27 |
| 2. 使用上の一般的な注意事項 | 27 |
| 3. 論文報告 (エビデンス) における課題 | 27 |
| 4. 論文報告としてはないものの、「教科書に記載されている」「すでに一般的に知られている」といった副作用や禁忌事項 (=グッドプラクティスポイント：GPP) | 28 |
| 5. 文献検索の条件 | 28 |
| ② 臨床疑問 | 29 |
| 臨床疑問 2-1 マッサージは、がんに伴う身体症状を軽減するか？ | 29 |
| 臨床疑問 2-2 マッサージは、がんに伴う精神症状を軽減するか？ | 31 |
| 臨床疑問 2-3 マッサージは、全般的な QOL を改善するか？ | 32 |
| 臨床疑問 2-4 マッサージは、何らかの望ましくない有害事象を引き起こすか？ | 33 |
| 臨床疑問 2-5 マッサージは、検査・治療等 | |

| | | | |
|---|----|---|----|
| に伴う有害事象を軽減する か？ | 33 | 2 臨床疑問 | 46 |
| 臨床疑問 2-6 マッサージは、予後を改善する か？ | 33 | 臨床疑問 4-1 運動療法は、がんに伴う身体 症状を軽減するか？ | 46 |
| 3 アロマセラピー・マッサージ | 34 | 臨床疑問 4-2 運動療法は、がんに伴う精神 症状を軽減するか？ | 57 |
| 1 サマリー | 34 | 臨床疑問 4-3 運動療法は、全般的な QOL を 改善するか？ | 59 |
| 1. アロマセラピー・マッサージの概要 | 34 | 臨床疑問 4-4 運動療法は、何らかの望まし くない有害事象を引き起こす か？ | 64 |
| 2. 使用上の一般的な注意事項 | 34 | 臨床疑問 4-5 運動療法は、検査・治療等に 伴う有害事象を軽減するか？ | 66 |
| 3. 論文報告（エビデンス）における課題 | 35 | 臨床疑問 4-6 運動療法は、予後を改善する か？ | 67 |
| 4. 論文報告としてはないものの、「教科書に記 載されている」「すでに一般的に知られてい る」といった副作用や禁忌事項（＝グッドプ ラクティスポイント：GPP） | 35 | 5 ホメオパシー | 71 |
| 5. 文献検索の条件 | 35 | 1 サマリー | 71 |
| 2 臨床疑問 | 37 | 1. ホメオパシーの概要 | 71 |
| 臨床疑問 3-1 アロマセラピー・マッサージ は、がんに伴う身体症状を軽 減するか？ | 37 | 2. 使用上の一般的な注意事項 | 71 |
| 臨床疑問 3-2 アロマセラピー・マッサージ は、がんに伴う精神症状を軽 減するか？ | 39 | 3. 論文報告（エビデンス）における課題 | 71 |
| 臨床疑問 3-3 アロマセラピー・マッサージ は、全般的な QOL を改善する か？ | 40 | 4. 論文報告としてはないものの、「教科書に記 載されている」「すでに一般的に知られてい る」といった副作用や禁忌事項（＝グッドプ ラクティスポイント：GPP） | 72 |
| 臨床疑問 3-4 アロマセラピー・マッサージ は、何らかの望ましくない有 害事象を引き起こすか？ | 40 | 5. 文献検索の条件 | 72 |
| 臨床疑問 3-5 アロマセラピー・マッサージ は、検査・治療等に伴う有害 事象を軽減するか？ | 41 | 2 臨床疑問 | 74 |
| 臨床疑問 3-6 アロマセラピー・マッサージ は、予後を改善するか？ | 42 | 臨床疑問 5-1 ホメオパシーは、がんに伴う 身体症状を軽減するか？ | 74 |
| 4 運動療法 | 43 | 臨床疑問 5-2 ホメオパシーは、がんに伴う 精神症状を軽減するか？ | 75 |
| 1 サマリー | 43 | 臨床疑問 5-3 ホメオパシーは、全般的な QOL を改善するか？ | 75 |
| 1. 運動療法の概要 | 43 | 臨床疑問 5-4 ホメオパシーは、何らかの望 ましくない有害事象を引き起 こすか？ | 75 |
| 2. 使用上の一般的な注意事項 | 43 | 臨床疑問 5-5 ホメオパシーは、検査・治療 等に伴う有害事象を軽減する か？ | 75 |
| 3. 論文報告（エビデンス）における課題 | 43 | 臨床疑問 5-6 ホメオパシーは、予後を改善 するか？ | 76 |
| 4. 論文報告としてはないものの、「教科書に記 載されている」「すでに一般的に知られてい る」といった副作用や禁忌事項（＝グッドプ ラクティスポイント：GPP） | 44 | 6 アニマルセラピー | 77 |
| 5. 文献検索の条件 | 44 | 1 サマリー | 77 |
| | | 1. アニマルセラピーの概要 | 77 |

| | | | | |
|---|----|---|--------------------------------|-----|
| 2. 使用上の一般的な注意事項 | 77 | 臨床疑問 7-5 | リラクセーションは、検査・治療等に伴う有害事象を軽減するか？ | 89 |
| 3. 論文報告（エビデンス）における課題 | 77 | 臨床疑問 7-6 | リラクセーションは、予後を改善するか？ | 90 |
| 4. 論文報告としてはないものの、「教科書に記載されている」「すでに一般的に知られている」といった副作用や禁忌事項（＝グッドプラクティスポイント：GPP） | 77 | 8 音楽療法 | | 92 |
| 5. 文献検索の条件 | 78 | 1 サマリー | | 92 |
| 2 臨床疑問 | 79 | 1. 音楽療法の概要 | | 92 |
| 臨床疑問 6-1 | 79 | 2. 使用上の一般的な注意事項 | | 92 |
| アニマルセラピーは、がんに伴う身体症状を軽減するか？ | 79 | 3. 論文報告（エビデンス）における課題 | | 92 |
| 臨床疑問 6-2 | 79 | 4. 論文報告としてはないものの、「教科書に記載されている」「すでに一般的に知られている」といった副作用や禁忌事項（＝グッドプラクティスポイント：GPP） | | 93 |
| アニマルセラピーは、がんに伴う精神症状を軽減するか？ | 79 | 5. 文献検索の条件 | | 93 |
| 臨床疑問 6-3 | 80 | 2 臨床疑問 | | 95 |
| アニマルセラピーは、全般的なQOLを改善するか？ | 80 | 臨床疑問 8-1 | 音楽療法は、がんに伴う身体症状を軽減するか？ | 95 |
| 臨床疑問 6-4 | 80 | 臨床疑問 8-2 | 音楽療法は、がんに伴う精神症状を軽減するか？ | 96 |
| アニマルセラピーは、何らかの望ましくない有害事象を引き起こすか？ | 80 | 臨床疑問 8-3 | 音楽療法は、全般的なQOLを改善するか？ | 97 |
| 臨床疑問 6-5 | 80 | 臨床疑問 8-4 | 音楽療法は、何らかの望ましくない有害事象を引き起こすか？ | 97 |
| アニマルセラピーは、検査・治療等に伴う有害事象を軽減するか？ | 80 | 臨床疑問 8-5 | 音楽療法は、検査・治療等に伴う有害事象を軽減するか？ | 97 |
| 臨床疑問 6-6 | 80 | 臨床疑問 8-6 | 音楽療法は、予後を改善するか？ | 97 |
| アニマルセラピーは、予後を改善するか？ | 80 | 9 鍼灸治療 | | 99 |
| 7 リラクセーション | 82 | 1 サマリー | | 99 |
| 1 サマリー | 82 | 1. 鍼灸治療の概要 | | 99 |
| 1. リラクセーションの概要 | 82 | 2. 使用上の一般的な注意事項 | | 99 |
| 2. 使用上の一般的な注意事項 | 83 | 3. 論文報告（エビデンス）における課題 | | 99 |
| 3. 論文報告（エビデンス）における課題 | 83 | 4. 論文報告としてはないものの、「教科書に記載されている」「すでに一般的に知られている」といった副作用や禁忌事項（＝グッドプラクティスポイント：GPP） | | 100 |
| 4. 論文報告としてはないものの、「教科書に記載されている」「すでに一般的に知られている」といった副作用や禁忌事項（＝グッドプラクティスポイント：GPP） | 84 | 5. 文献検索の条件 | | 100 |
| 5. 文献検索の条件 | 84 | 2 臨床疑問 | | 102 |
| 2 臨床疑問 | 86 | 臨床疑問 9-1 | 鍼灸治療は、がんに伴う身体症状を軽減するか？ | 102 |
| 臨床疑問 7-1 | 86 | | | |
| リラクセーションは、がんに伴う身体症状を軽減するか？ | 86 | | | |
| 臨床疑問 7-2 | 88 | | | |
| リラクセーションは、がんに伴う精神症状を軽減するか？ | 88 | | | |
| 臨床疑問 7-3 | 88 | | | |
| リラクセーションは、全般的なQOLを改善するか？ | 88 | | | |
| 臨床疑問 7-4 | 89 | | | |
| リラクセーションは、何らかの望ましくない有害事象を引き起こすか？ | 89 | | | |

| | | | | |
|---|------------------------------|-----|--------------------------------|-----|
| 臨床疑問 9-2 | 鍼灸治療は、がんに伴う精神症状を軽減するか？ | 105 | 2. わが国で用いられているがん患者に対する栄養剤 | 122 |
| 臨床疑問 9-3 | 鍼灸治療は、全般的な QOL を改善するか？ | 105 | ① 経口栄養補助剤：GFO | 122 |
| 臨床疑問 9-4 | 鍼灸治療は、何らかの望ましくない有害事象を引き起こすか？ | 105 | ② 経口栄養補助剤：インナーパワー | 124 |
| 臨床疑問 9-5 | 鍼灸治療は、検査・治療等に伴う有害事象を軽減するか？ | 106 | ③ 経口栄養補助剤：プロシユア | 127 |
| 臨床疑問 9-6 | 鍼灸治療は、予後を改善するか？ | 109 | ④ 胃瘻からの経腸栄養剤：ラコール NF 配合経腸用半固形剤 | 128 |
| 10 ヨガ | | 111 | ⑤ 経口補水液：OS-1 | 128 |
| ① サマリー | | 111 | ⑥ 経口栄養補助剤：アバンド | 130 |
| 1. ヨガの概要 | | 111 | 3. がん悪液質に対する栄養サポートと今後の課題 | 131 |
| 2. 使用上の一般的な注意事項 | | 111 | 2 免疫療法 | 133 |
| 3. 論文報告（エビデンス）における課題 | | 111 | 1. わが国で実施されている免疫療法 | 133 |
| 4. 論文報告としてはないものの、「教科書に記載されている」「すでに一般的に知られている」といった副作用や禁忌事項（＝グッドプラクティスポイント：GPP） | | 112 | ① 第1世代 | 133 |
| 5. 文献検索の条件 | | 112 | ② 第2世代 | 133 |
| ② 臨床疑問 | | 114 | ③ 第3世代 | 133 |
| 臨床疑問 10-1 | ヨガは、がんに伴う身体症状を軽減するか？ | 114 | ④ 第4世代 | 133 |
| 臨床疑問 10-2 | ヨガは、がんに伴う精神症状を軽減するか？ | 115 | 3 漢方薬 | 136 |
| 臨床疑問 10-3 | ヨガは、全般的な QOL を改善するか？ | 116 | 1. 漢方薬とは？ | 136 |
| 臨床疑問 10-4 | ヨガは、何らかの望ましくない有害事象を引き起こすか？ | 116 | 2. 漢方薬を用いた臨床試験 | 136 |
| 臨床疑問 10-5 | ヨガは、検査・治療等に伴う有害事象を軽減するか？ | 116 | 3. 漢方薬の注意点 | 136 |
| 臨床疑問 10-6 | ヨガは、予後を改善するか？ | 117 | 4 高濃度ビタミン C 点滴療法 | 138 |
| | | | 1. ビタミン C に関する一般的事項 | 138 |
| | | | 2. ビタミン C とがん | 138 |
| | | | ① がん予防 | 138 |
| | | | ② がん治療 | 138 |
| | | | 3. 高濃度ビタミン C 点滴療法 | 139 |
| | | | ① ビタミン C の抗腫瘍メカニズム | 139 |
| | | | ② 単独投与 | 139 |
| | | | ③ 併用療法 | 139 |
| | | | ④ 副作用 | 139 |
| | | | ⑤ 薬物相互作用 | 139 |
| | | | ⑥ その他の注意事項 | 139 |

IV章 各論：治療のトピックス

| | |
|---------------|-----|
| 1 栄養療法，経腸栄養剤 | 120 |
| 1. 担がん患者の代謝変動 | 120 |
| ① エネルギー代謝異常 | 120 |
| ② 糖代謝異常 | 120 |
| ③ 蛋白代謝異常 | 121 |
| ④ 脂質代謝異常 | 121 |

V章 参考資料

| | |
|------------------|-----|
| 1 相互作用について | 142 |
| 1. 薬物動態学的相互作用 | 142 |
| 2. 薬力学（薬理学）的相互作用 | 142 |
| 3. その他の要因 | 143 |
| ① 環境要因によるもの | 143 |
| ② ポリファーマシーの危険性 | 143 |

| | | | |
|-----------------------------|-----|------------------------------|-----|
| ③ ハーブ, サプリメント, 健康食品 | 154 | ③ 患者の特性 (文化, 性別, 年齢) | 158 |
| 4. 参考となる情報 | 154 | ④ 患者自身による意思決定 | 158 |
| ① Web サイト | 154 | ⑤ 補完代替療法に関する公的機関による情報 | |
| ② 書籍 | 154 | 資料 | 160 |
| ② 患者・医療者間のコミュニケーションを | | 1. 補完代替療法全般に関する情報 | 160 |
| 考える | 155 | 2. 健康被害等に関する情報 | 160 |
| 1. 補完代替療法利用の現状と行動科学的考察 | 155 | 3. 消費者トラブルに関する情報 | 160 |
| 2. 補完代替療法と多元的医療システムの問題 | 155 | 付 録 エビデンス掲載ページ (主ながん種) | 162 |
| 3. コミュニケーションの実際 | 156 | 索 引 | 163 |
| ① 補完代替療法を利用する患者の心理 | 156 | | |
| ② 医療者の介入 | 157 | | |